

# こんにちは 議会です!!



今年も仲よくやって来ました



• 補正予算を審議 …………… 2	• 総務常任委員会 …………… 6
• 予算特別委員会 …………… 3	• 産業建設常任委員会 ……… 7
• 12月定例議会 …………… 4	• 町政を問う(8人が一般質問) …… 8
• 臨時議会・行政報告・ 活動報告(議員研修) …………… 5	• まちの課題 …………… 13
	• まち・ひと・しごと!! …… 14



# 補正予算8912万円を審査・可決 観光地整備を!



**滋賀県議会議員選挙費**  
353万円



**木の学習机(小学校)**  
213万円



**河内風穴観光トイレ整備**  
1095万円



**スマートインター工事  
土地手続き費用**  
114万円



**災害ゴミ収集業務**  
188万円

## 予算特別委員会

12/11

おもな内訳	(万円)
河内風穴観光トイレ整備	1095
合併浄化槽設置補助	405
ささゆり保育園前町道と水路間の舗装	295
災害ゴミ収集業務委託料	188
農業機械購入補助	67
支障木・倒木の伐採(2カ所)	62
太田川 川ざらえの県補助金	18
スマートインター建設土地手続き費用	114
農地貸付への国の補助	22
清涼ファミリーステーション修繕	318
障害者自立支援介護給付費	3200
ふれあいの郷検査業務委託	▲97
国保会計への繰出し金	300
過年度還付金(修正申告による)	50
住民基本台帳システム改修	232
一圓屋敷改修工事	▲11
コミュニティバス運行補助	97
滋賀県議会議員選挙費	353
木の学習机(小学校)	213
中学校階段手すり撤去費用	41
保育所費(献立業務、広域入所など)	398
幼稚園費(人件費など)	45
多賀小学校火災報知器修繕	57
減債基金への積み立て	746

**問** 河内風穴の観光トイレ整備は年間2万人以上の観光客がある。河内観光協会が水洗トイレを設置する事業への補助である。合併浄化槽を設置する。

**答** 年間2万人以上の観光客がある。河内観光協会が水洗トイレを設置する事業への補助である。合併浄化槽を設置する。

**問** スマートインター建設に向けてどのような手続きか

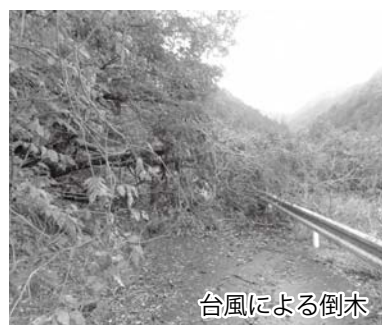
**答** 建設に必要な盛り土の置き場所として、敏満寺原田地区の土地を使用するための手続きである。

**問** 木の学習机は、すべての児童・生徒に配布できたのか

**答** 18年から始まり、今年度で完了し、すべての児童・生徒が木の机を使用できる。

**問** 県議会選挙費用と資材の再利用は

**答** 今回は、今年度分の353万円を受け入れた。来年度分と合わせると、約770万円になる。ポスター掲示板などの資材は、文字や日付けが書かれているため、再利用はできない。



**問** 支障木・倒木の伐採は

**答** 2カ所あり、町道敏満寺尼子線の、名神上り線沿いの支障木。台風による倒木がある大字四手の町道墓保線である。

**問** 中学校の登校用階段手すり撤去は

**答** 多賀若宮側から登校坂に通じる階段の手すり、校舎建設当時からのもので、腐食が著しい。両側2本を撤去する。安全上、手すりは必要であり、新設を要する。

**問** 農業機械購入への補助

**答** 土田営農農事組合法人が、コメの色彩選別機を購入。県の補助を受けて実施。



**要望** 安全上、手すりは必要であり、新設を要する。

**問** 清涼ファミリーステーションの修繕は

**答** 台風により屋根が破損し、近隣に飛散した。屋根の修繕は、アスファルト防水加工をする。また50年以上経過している桜の木5本を伐採する。



また50年以上経過している桜の木5本を伐採する。



# 12月定例議会

12/4

12/21

補正予算を審議  
可決しました

◎一般会計(第7号)

総額 8912万円(増)

◎国の補正予算確定に伴う。

\* 台風21号により、敏満寺清涼ファミリーステーション内の桜木の倒木・枝伐採に伴う災害復旧事業ほか。

◎国民健康保険  
特別会計  
総額 539万円(増)

◎介護保険事業  
特別会計  
総額 1976万円(増)

◎下水道事業  
特別会計  
総額 1097万円(増)

◎彦根市と締結した湖東  
定住自立圏の形成に関する  
協定書の一部を変更  
審議・可決しました

\* (仮称)多賀スマート  
インターチェンジの整備  
を追加するもの。

条例を制定

◎多賀町中央公民館  
「多賀結いの森」の設置  
および管理に関する条例

\* 4月1日運用開始予定「多賀結いの森」の、適切かつ効果的な管理・運用のため、施設の使用に関する規定を整理・修正するための条例。

湖東広域衛生管理組合  
規約の変更および  
財産処分について  
議決しました

\* 31年度より東近江市愛東・湖東地区が、当組合より脱退し中部清掃組合に編入されることにより、規約・財産の変更をするもの。

意見書を提出します

◎『主要農作物の種子生産にかかる県条例の制定に関する意見書』の提出を求める請願書を採択し、県へ意見書を提出

\* 種子法の廃止を受け、滋賀県の開発・育種した種子などが、民間種苗会社へ移行した場合、種子の価格上昇、品質低下や優良な種子が安定的に供給されなくなる等が懸念され、農作物の安定供給に不安が生じるため、県条例の制定を求めるもの。



多賀財産区管理委員会  
の選任に同意しました

再任 山本 登英氏 (大岡)  
再任 宮野 佐喜次氏 (四手)  
再任 桂 善蔵氏 (栗栖)

多賀町固定資産評価  
審査委員会委員の  
選任に同意しました

再任 竹内 幸雄氏 (尼子)  
再任 坂上 定男氏 (富之尾)

## 活動報告(議員研修)

10/15

11/19

◎10月15日、県町村議会  
議長会研修が豊郷町  
隣保館で開催。

◎11月19日、彦根・愛  
知・犬上町議会議長  
会研修が、豊郷町隣保  
館で開催。

「激変する日本経済」  
輝く地域・輝く人の条件  
をテーマに日本経済・  
消費の変化・経営環境・  
消費動向について渋谷和  
宏氏(経済ジャーナリス  
ト)による講義を受けた。  
「守山市における地方  
創生」をテーマに総合戦  
略の推進について、宮本  
和宏氏(守山市長)によ  
る講義を受けた。



議会の役割は

彦根・愛知・犬上町議会議長会研修



まちの将来は

県町村議会議長会研修

「シティプロモーション  
のあり方と議会での政策  
形成」をテーマに、議会  
がどう関われるかについ  
て、青山公三氏(龍谷大  
学教授)による講義を受  
けた。



# 「多賀結いの森」 新たな憩いの場を



厳正な開票作業を

投票用紙計数機

## 臨時議会

11/26

契約の締結を  
審議・可決しました

◎新中央公民館の  
備品購入契約

●相手方  
(有)タニグチオフィス  
システム

●金額 765万円

●おもな備品  
イス、テーブル、書庫、  
棚、授乳室ベッド、展示  
パネル、工作室収納庫。

補正予算を  
審議・可決しました

職員給与改正に  
よる追加

◎一般会計

12万円(増)

◎特別会計

●国民健康保険 30万円(増)

●介護保険事業 16万円(増)

●農業集落排水事業 11万円(増)

条例の改正を  
審議・可決しました

◎一部改正

●職員の給与に関する  
条例  
●特別職の職員で常勤  
の者の給与および旅  
費に関する条例



多賀結いの森 調理室

## 行政報告

12/4

企画課所管

●公共交通対策事業は、  
大君ヶ畑線全線、萱原-  
富之尾間と金屋橋-役場  
間を廃止予定。

●愛のりタクシーの運行  
充実により代替交通の確  
保を図る。  
説明会を開催し、ご理  
解を得るよう努める。

●中央公民館建設事業  
は木材調達遅れなどで  
工期延長。竣工式、開館  
に影響が出ないよう事業  
推進を図る。

産業環境課所管

●粗大ごみ収集は30年度  
合計、小型家電17.3t、  
資源ごみ51.5t、非資  
源ごみ178.8t。昨年  
年度に比べ78t増。台風  
での災害廃棄物が多く排  
出された。

●農業関係は台風による  
施設被災に対し、国の経  
営体育成支援事業を活用  
した支援を進める。

福祉保健課所管

●特定健診の受診率は29  
年度61.6%と県内トッ  
プ。

●健診受診者に対して結  
果説明会、保健指導、個  
別指導を実施。また、早  
朝健診や女性に特化した  
健診日を設け、勧奨に努  
める。

地域整備課所管

●除雪体制は除雪延長  
増加、オペレーター減少  
のため維持が困難な状況  
だが職員、工業会、地域  
の協力により総合力で除  
雪の充実を図りたい。

教育委員会所管

●大滝たきのみやこども  
園の園庭整備は31年3月  
末、完成を目指す。  
園児募集は11月22日現  
在、多賀幼稚園56人、多  
賀ささゆり保育園210  
人、認定こども園短時部  
に15人、長時部に30人が  
希望。



# 総務常任委員会

12/7

## 「多賀結いの森」の設置 管理条例を制定

### 「多賀結いの森」 誰もが気軽に利用できる 中央公民館を



多賀結いの森

国民健康保険  
539万円増  
総額8億8350万円

介護保険事業  
1976万円増  
総額8億5498万円

# 閉会中の調査

11/14

## 災害対応は

◎防災活動の体制  
地震災害時、風水害時  
の体制は段階的に対応。  
震度6弱の地震や大規模  
災害発生時は全職員。

●簡易トイレ1万セット  
●ブルーシート450枚  
●衛星電話5台  
●間仕切りテント11張

●避難情報の、避難の準備、  
報告、指示は適宜対応。  
●情報伝達は、総合情報  
配信のメール・県防災情報  
報アラート・多賀町有  
線放送で対応。

問 毛布の保管、湿気は大丈夫か  
答 アルミ袋に真空パック  
状態で保管。大丈夫。

●災害時の応援協定  
現在21協定を締結。  
物資供給5、応急復旧7、  
医療救護3、総合支援3、  
その他3協定。

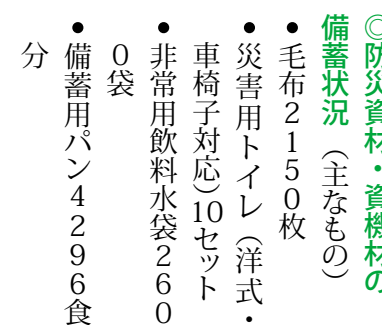
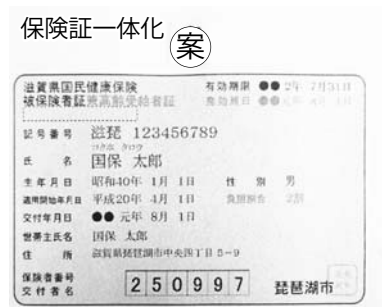
問 災害時の運搬用リヤカー配備計画は  
答 消防の防災用品で購  
入時は補助対象。

◎防災資材・資機材の  
備蓄状況（主なもの）  
●毛布2150枚  
●災害用トイレ（洋式・  
車椅子対応）10セット  
●非常用飲料水袋260  
0袋  
●備蓄用パン4296食

問 段ボールベットの提供  
協定の考えは  
答 比較的早く応援物資  
が届く状況。

●防犯カメラ  
●防犯カメラ  
●防犯カメラ  
●防犯カメラ

問 段ボールベットの提供  
協定の考えは  
答 比較的早く応援物資  
が届く状況。



# 産業建設常任委員会

10/24

## 閉会中の調査

### 産業環境課の所管 事務を調査しました （林業・農業・観光・環境 衛生の施策について）

#### 林業の現状は

問 林業再生計画  
数値目標と実績は

答 29年度の実績は、間伐114ha。従事者39人となった。



待たれる間伐

林業の地域再生計画（数値目標）

	29年	30年	31年	32年	33年
木材生産量	1240 m <sup>3</sup>	2000 m <sup>3</sup>	2750 m <sup>3</sup>	3440 m <sup>3</sup>	4100 m <sup>3</sup>
間伐面積	90 ha	100 ha	130 ha	140 ha	150 ha
林業従事者	37人	39人	41人	43人	45人

答 協議会で計画・実行し、ひと・まち・しごと委員会等で評価。再度協議会で改善するというサイクルがきている。

問 雇用の創出につながっているか

答 多くを雇えないが、2人ずつ育成している。木材の人工乾燥機の導入は

問 森林ワーキンググループで議論している。町が進めるべきと考え

問 搬出間伐の現状は

答 間伐面積114haのうち搬出できたのは37%の42haである。それ以外が切り捨て間伐となっている。

#### 農業の現状は

問 農家ヒアリングの結果は

答 付加価値化、ブランド化などの意見があった。

問 国へ地方創生交付金申請するのは

答 申請の時期については見直す。

問 最終目標、中間目標は設定されているのか

答 設定できていない。

問 生産・加工・販売という6次産業化への取り組みは

答 生産者と協議し進めたい。

問 直売所を開設する計画は

答 直売所の開設をめざす。外部から人材や組織の力を借りることも検討。

#### 観光の現状は

問 地方創生交付金でライトアップが人気である。今後も続けるのか

答 続けたいが、神社との調整を図る。

問 観光滞在時間調査は

答 駅前と観光案内所で聞き取りにより調査。



環境衛生の現状は  
台風など災害により発生した大型ごみ（災害ごみ）への対応は  
罹災証明書を発行し、集積場所まで運んでいる。今後は災害ごみの処理計画を作る。



結果  
全員賛成で、請願を採択すべきものと決定。

請願を審査しました  
請願名  
主要農作物の種子生産にかかるとる条例の制定に関する意見書の提出を求める請願書  
請願者  
●東むつ農業協同組合  
●滋賀県農政連盟  
趣旨の説明  
●これまでコメ・麦・大豆の主要農作物は、種子法に基づき、都道府県が中心に種子（品種）を開発してきた。  
●政府がTPP関連政策大綱に基づき、国家戦略として、種子生産にも民間活力を活用するねらいで、30年4月に種子法が廃止された。  
●民間参入で、種子価格の上昇が予想される。これまでどおり都道府県での種子生産体制を強く望む。



# 町政を問う

8人が一般質問

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

質問事項	ページ
川添 武史 ◎臨時・非常勤職員の待遇と対応は ◎水道企業会計の今後の計画は	9
大橋 富造 ◎ドローンの導入と活用を ◎災害被災者の早期生活再建支援策は ◎災害時の福祉避難所は	9
菅森 照雄 ◎「ふれあいの郷」風呂の改修は ◎杉の子クラブの充実を	10
松居 亘 ◎長寿社会に備えての施策は	10
尾谷 忠之 ◎地方創生関連事業の継続と展開は	11
山口 久男 ◎国民健康保険税の引き下げを ◎公共交通の再編について ◎幼児教育、保育の無償化は ◎学ぶ力向上支援県補助金は ◎道路の落石防止対策は	11
木下 茂樹 ◎各種補助金・助成金の確認と対策は ◎山間地農地保全の再構築に補助を	12
川岸 真喜 ◎財政の今後は ◎介護タクシーの利用料に補助を	12

(※○印は、掲載していません。)

質問1  
**臨時・非常勤職員の待遇と対応は**  
— 副町長 —  
**実態把握を行い検討を進める**



かわぞえ たけし  
川添 武史

質問2  
**水道企業会計の今後の計画は**

問 国は「水道事業」共同化への指針を出したが今後の水道事業計画は

問 「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」が公布、32年4月1日施行の予定。臨時嘱託職員の適正任用、勤務条件などの把握と現状は

副町長 答 これまでの制度の運用を抜本的に見直し、公務運営の適正運用を進める。

現在、実態把握を行い、会計年度任用職員の任用・勤務条件の検討を進めている。今後、任用要件、勤務条件、各種制度等の設定を行い、関係条例や規則を整備する。



安定給水を

敏満寺浄水場

町長 答 広域化によるスケールメリット、持続可能な事業への転換は将来的に必要と認識。現状では、各市町間で課題が多く統合への機運に達しておらず、今後の現状を見守る必要と考える。

水源池整備・施設更新は着実な安定給水事業で、統合による先延ばしは考えていない。

今後の計画は、彦根市・甲良町と市町村の合併に当たる事業統合ではなく、料金徴収・水のやりとり・施設共有化など可能なことから進めたい。

質問1  
**ドローンの導入と活用を**  
— 副町長 —  
**災害協定などで対応する**



おおはし とみぞう  
大橋 富造



災害時に活用を

ドローン (小型無人マルチヘリコプター)

問 ドローンは災害現場の撮影にも有効である。被害の状況を把握でき、正確な対応が可能となる。導入に向けた予算化の考えは

副町長 答 災害発生時や発生後など、緊急を要し、ドローンでない業務に支障が出る場合には、湖東土木事務所への協力要請や民間測量会社への調査委託、あるいは災害協定など、制度の枠組みにより対応を考える。



罹災証明書

質問2  
**災害被災者の早期生活再建支援策は**

問 今秋の台風21号では、町内でも家屋などへの甚大な被害があり、被災された方は生活の再建に大きな負担がかかっている。罹災証明書の発行対応は

町長 答 罹災証明書発行のための人材育成を行っている。

町政を問う

町政を問う





質問1

# 地方創生関連事業の継続と展開は

—産業環境課長—

## (仮称)「戦国」体験・体感ツーリズムと連携

お 尾谷 忠之

**問** ①「神あかり」事業の継続と予算確保は  
②観光交流センター・特産品直売所のビジョンは  
③地域ブランド(産品・景観・観光コース)認定制度設計の進捗状況は

**答** ①来年度以降も実施の方向。県が実施の(仮称)「戦国」体験・体感ツーリズムとの連携を図る。  
②絵馬通りの活性化の動きに合わせて検討する。  
③農産品の基準の制定や組織の認定、6次産業化など、多くの課題がある。観光コースは、案内板・駐車場の整備、ガイド育成など課題がある。



町政を問う

質問1

# 国民健康保険税の引き下げを

—税務住民課長—

## 年度中の変更はない

やま ぐち ひさ お 山口 久男

**問** ①今年度の国保税値上げによる影響の見解は  
②今年度加入者の所得状況、県への事業費納付金の見通しは  
③次年度の国保税率改定の考えは

**答** ①今年度の国保税値上げによる影響の見解は、県への事業費納付金の見通しは、③次年度の国保税率改定の考えは、

**質問2**  
**公共交通の再編について**  
**問** ①廃止対象路線の住民説明会の状況は  
②説明会での質問・意見・要望内容は

**答** ①今年度の国保税値上げによる影響の見解は、県への事業費納付金の見通しは、③次年度の国保税率改定の考えは、

**企業課長**  
**答** ①11集落で開催し男性126人、女性96人の参加をいただき、2集落の開催待ちです。  
②萱原線で富之尾バス停と乗り継ぎ場の環境改善、自転車駐輪場整備等の要望がある。  
③富之尾での路線バスと接続ダイヤを調整する。  
④6、9月議会での答弁のとおり、料金割引の予定はない。  
⑤現在の450円区間を400円、900円が800円に値下げの予定と複数人予約乗車割引で、現在の半額以下になる。

質問1

# 「ふれあいの郷」風呂の改修は

—福祉保健課長—

## 2つのプレイルームに改修する

すが もり てる お 菅 森 照雄



**問** ①設計および見積もりの状況は  
②実施時期は

**答** ①先に作成した改修計画案をもとに実施設計に向けて検討を行ってきた。改修が必要な個所や内容について精査し、当初の設計案を一部修正し、実施設計図および設計書を建築設計会社に依頼している。  
②31年度ふれあいの郷改修工事として予算化していきたい。

**問** ①教育委員会の見解は  
②協議の内容と結果は  
③開設日数の増加は

**答** ①子どもたちが杉の子クラブにおいてのびのびと過ごしておられ、放課後等支援事業が一定の成果を上げている。子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりのため、積極的に支援していきたい。

質問1

# 長寿社会に備えての施策は

—福祉保健課長—

## 高齢者の生きがいがづくり、健康指導に努める

まつ い わたる 松 居 亘

**問** ①第7期高齢者福祉計画および介護保険事業計画における施策は  
②本町の在宅医療体制づくりは  
③高齢者の生きがいと健康づくり、地域活動参加支援施策は  
④健康診断・治療・予防接種の情報活用は  
⑤健康寿命の前進を図るためのシニアの生きがいがづくりは

**答** ①誰もがいつまでも安心して暮らせる地域づくりを基本理念として、地域包括ケアシステムを充実させ、地域の力を高め、皆が安心して暮らしていける地域づくりを進める。  
②病院と診療所の連携、診療所と診療所の連携を図り、彦根医師会にも協力いただき推し進める。  
③働く意欲のある高齢者が生きがいをもち働けるよう、就労促進や業務



**福祉保健課長**  
**答** ①誰もがいつまでも安心して暮らせる地域づくりを基本理念として、地域包括ケアシステムを充実させ、地域の力を高め、皆が安心して暮らしていける地域づくりを進める。  
②病院と診療所の連携、診療所と診療所の連携を図り、彦根医師会にも協力いただき推し進める。  
③働く意欲のある高齢者が生きがいをもち働けるよう、就労促進や業務





# 各種補助金・助成金の確認と対策は

一産業環境課長一  
**問題点があれば要綱を改正し見直す**

きのした しげき  
木下 茂樹

**問** ①『がんばる商店応援補助金』成果と評価は  
②『生ごみ処理機購入費補助金』問題点と改善は  
③補助・助成金交付後の再評価、その後の状況確認は

**産業環境課長**  
**答** ①24年度から29年度まで17件が新規開業し、町内の商業におけるにぎわいの創出成果があった。  
②11年度から始まり要綱の改正、見直しをしている。  
③経営に厳しい店舗もあり、聞き取り調査や経営状況の確認を実施予定。



**問** 山間地農地保全の再構築に補助を  
①農道のアスファルト舗装は  
②給・排水路の修繕、再構築費用の助成は  
③獣害防止柵の再構築設置位置の変更などの助成は

**産業環境課長**  
**答** ①年次計画から国・県と協議しながら希望にそえるよう取り組む。  
②中・長期的に各集落や土地改良区に調査依頼し、保全・更新対策を推進していきたい。  
③獣害防止集落自衛対策事業補助金の活用を。



## 除雪の現状と課題

**除雪の現状は**

**答** 積雪が10センチ以上になると、業者・職員による除雪作業を開始します。  
**答** 町道は業者に委託、もしくは、集落にお願いしています。  
**答** 通勤・通学に支障ないよう除雪実施時間を設定しています。

**除雪の質問と答え**

**問** 自動積雪計の設置場所  
**答** 大君ヶ畑、仏ヶ後水谷、大岡の四カ所です。風向・風力、日照などで積雪量の誤差も生じますので、実際の積雪量と誤差もあります。  
**問** 町道でも除雪してない道もあるが  
**答** 道路幅が狭く除雪車の通行が困難な地域、雪置きが困難な地域では、地域での対応をお願いしています。  
**問** 除雪時間が遅い時もあるが  
**答** 積雪量や雪質などで除雪完了時間に誤差も生じます。スムーズな除雪の実施に向け、路上駐車をしないうようお願いしています。

**今後の課題**

- 1 生活の多様化、過疎化、少子・高齢化がすすんでいます。地域の一人住まいの方へ、「助け合い」で、孤立防止に御協力を。
- 2 除雪体制の維持が深刻になってきました。
- 3 今後も、緊急時や通勤・通学に支障のないよう生活道路確保を。



# 財政の今後は

一副町長一  
**地方債の計画的な発行・返済に努める**

かわ ぎし まさき  
川岸 真喜



**問** 決算を見ると、公債費の比率が高く、経費の増加により財政の硬直化が進んでいる。健全な財政運営が求められる。  
①地方債の返済予定は  
②公共交通の再編によって、コミュニティバス運行補助金、愛のりタクシー負担金に変化は  
③がんばる商店応援補助金の予算化のあり方は

**副町長**  
**答** ①来年度の返済は4億7千万円程度。元金償還額を超えない借入れや、繰り上げ返済、減債基金への積立にも努める。  
②コミュニティバスは利用客増加の路線では町の負担は減少傾向。2路線で廃線となるため、負担は減る。愛のりタクシーは負担金の増加が予想される。  
③申請内容に応じて、補正予算に計上する。

**水道会計の今後は**  
**答** 長らく水道料金を据え置いてきた。施設更新ができず、老朽化による維持管理に費用がかかってきた。利益の蓄積ができず、企業債での借入れに頼り、自己資本の比率は他市町に比べて低い。今後も自己資本の積み増しを進める。施設整備も最小限にとどめ、建設費を抑制し、起債残高の増加を抑えたい。



## 気軽に懇談しませんか？

私たちは、議会活動の充実を図るため、各集落や各団体の皆さまとの懇談会を開催しています。懇談会は、随時受付をしています。開催日程、場所など、ご相談に応じさせていただきます。お気軽にご連絡ください。  
議会事務局 ☎48-8126 (有線)2-2011

## 表紙写真について

萱原にお住いの高橋與志勝さんが平成30年11月11日に自宅の近くに飛来した「おしどり」を撮影され、ご投稿頂きました。  
※「おしどり」は、「つがい」(夫婦)で「犬上ダム」へ飛来し毎年そのきれいな姿を見せてくれています。大滝小学校では、PTAによる観察会や給餌活動を毎年行っておられます。



## 表紙写真募集!!

『議会広報たが』の表紙写真を募集いたします。  
【募集内容・要件】  
◎町内で撮影されたもの  
◎未発表のオリジナル作品  
◎被写体の肖像権・財産権・使用权の承諾が得られているもの  
◎町の行事・出来事・集落の行事等の写真  
【募集方法】  
◎データの持ち込みまたはメールでご応募がございます。メール本文には、氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を記載ください。  
※広報常任委員会で選考し、ご応募いただきましたお写真の返却はいたしませんので予めご了承ください。  
※詳細はHPにも案内しております。



# まち・ひと・しごと!!

第8回

## 神主さんから「うどん屋」の大将に!

### ふるのや 「古野家」

店主 古野 宗俊さん



#### なぜうどん屋さんを?

平成3年に多賀大社の「神主」となり勤務してました。地域の事も徐々に分かってきて、知人もたくさんできて、もともと、人と話をするのが好きだったので新規店舗開業の町の補助金制度があることを知り、開業することを決心しました。



平成30年3月に多賀大社を退職し、同年5月22日に開店しました。

開店して数か月ですが寒くなってお客さんも少しずつ増えてきました。町内の友人も夕方には、訪れてくれることも多くなり、夕方には、「親父の憩いの場」になる日もあります。

#### これからどんな店に

絵馬通りがもつと賑わいのある通りになるようにいろんなことを工夫しています。平日にもこの通りに人が多く歩くようになり店主とお客さんの会話があちこちで聞こえる通りになればいいと思います。

そして、地域の人気軽に来れる店にしていきたいです。

「古野家」は「地域のたまり場」のようになりみんながこの町の事をいろいろと語り合える店になればいいと思っています。これからも、「賑わいと憩いの創出」のため頑張りますのでみなさんのご声援、ご利用をお待ちしております。

## 議会を傍聴してみませんか? 3月定例会の日程予定

会期	本会議が傍聴できます。
3月6日	6日(水) 9:30~ 議案審議
3月27日	7日(木) 9:30~ 一般質問
(22日間)	27日(水) 13:30~ 議案審議

※日程は変更になる場合があります。  
議会事務局 ☎48-8126  
(有線) 2-2011

### 原稿募集!!

◎議会事務局までご連絡ください。

- あなたのまわりの自慢をお聞かせください。
- 【応募資格】 多賀町に在住 または、在勤の方。
- 【応募方法】 2000字程度
- 【募集期間】 平成31年 4月5日(金)



### 編集後記

昨年は猛暑・地震・台風・豪雨とさまざまな災害の起こった年でした。本年は災害のない幸運多い年を願っています。

町民目線に立ち、町政の見張り役としてみなさまの負託にこたえていくため、議員の任務を果たしていきたいと考えています。

議会広報も町民目線に立った紙面づくりに心がけてまいります。

松居 亘 記

発行 / 多賀町議会  
編集 / 議会広報常任委員会

F 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324  
☎ 0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131  
有線 2-2011

ホームページ <http://www.town.taga.lg.jp/>